



松本の冬



令和4年11月1日現在	
世帯数	: 846世帯
人口	: 1523人
男	: 727人
女	: 796人

コロナ、ウクライナ、猛暑などに明け暮れた夏も過ぎ、いよいよ冬に向かう昨今です。街中には、外国人も含まれた観光客の姿も増え始めています。世の中が平穏で活気が戻ることを祈りたいものです。

人間の営みを超えて、季節は移ろいます。私たちの松本も冬将軍到来間近の候となりました。「松本の冬はどんなですか？」と県外から引越してきたばかりの隣人から聞かれたりしましたが、さて、松本の冬ってどう説明するものでしょうか。

気候で言えば、松本盆地は「晴天日」が多く、飛騨山脈(北アルプス)に雪雲がさえぎられるので積雪は多くありません。降雪は少ないものの寒さは厳しく、日本でも代表的な内陸性気候・中央高地式気候の都市です。特に1月～2月は冬型の気圧配置となる日が多く、雪雲は風上側の北部山

沿いでその水分をほとんど雪として降らせるので、水分の少なくなった乾いた空気が、冷たい風となって吹き抜けまがす。そのため、冬は晴れの日が多く、空気が乾燥します。ちなみに、松本の平年の年間日照時間は2134.7時間

と、瀬戸内海と並んで日照時間の多い地域です。降雨量も松本は北海道および瀬戸内海と並ぶ年間1、500mm以下の雨の少ない地域となつています。ついでですが、長野県の通年平均気温11.9度は全国5番目に低く、東北地方と肩を並べています。

そんな冬の近付く中、周囲の山々も色づき、また、松本の街中でも種々の樹木が紅葉です。

女鳥羽川沿いの桜の並木、伊勢町通りやその脇道のモミジ、カツラ、ハナミズキ、ヤマボウシなど、本町通りのナナカマド、駅前大通りのカツラ並木、花時計公園のヤマボ

ウシ、シラカシなど、第一地区だけでも結構とりどりの紅葉が楽しめます。「花いっぱい運動」の発祥の地です。処々の花壇もまだ花盛りです。寒さでの運動不足解消の散歩なども楽しいでしょう。

これからの第一地区関係の行事は、「えびす講」、「ゆっくりのんびり中町ホコ天×エコ展(11月27日)」「千歳橋のライトアップ(12月1日～2月末)」などがあります。もうすぐ「福だるま」も店頭に並ぶでしょう。気が早いですが、お正月やお年取りの準備もそろそろ考え始める候となります。初詣、初売り、そして、松本の代表的イベントの「あめ市」、「三九郎」なども楽しみになつてきます。「あめ市」は言わずもがなですが、戦国時代に上杉謙信が「塩止め」で苦しんでいた敵の武田信玄の支配にあつた松本地方に塩を送つてくれたという伝説が背景にあります。その時の荷運びの牛を繋いだという「牛繋ぎ石」中心に地元商店街が華やかに開催します。その他、各神社や商店街などいろいろな冬の行事も行われます。

松本の冬、楽しんでください。

Presented by
視聴覚委員会

まちかどフォト / 過ぎ行く季節



松本の七夕人形



OMF 歓迎吹奏楽パレード

第一地区公民館親子向け講座 「こどもいけばな」

～季節の野菜と草花で～ ハロウィンのよそおい
を開催しました！



思い思いに花を生けていきます

第一地区公民館は、10月22日土曜日午前10時から、Mウイング4階会議室で、ハロウィンをテーマとした親子生け花教室を開催。5歳から小学3年生までの子どもとその保護者5組11人が参加し、季節の花を使った生け花と工作を楽しみました。

草月流の師範飯岡光恵さん（松本市深志）を講師に、中身をくり抜いたカボチャを花器にして、ダリアやドラゴンヤナギ、ハナナス、ススキ、枯れたエノコログサなど秋の植物を好きな長さに切り、思い思いの形に生けました。ダリアを切るときは、花を長持ちさせるための技法「水切り」を体験。花の上部まで水を行きわたらせる「水揚げ」をするため、水をはったポウ



生け花を体験する参加者

ルの中で切るとよいことなどを教わりました。

花を生け終わった後は、カボチャにシールを貼って目鼻をつけたり、枝にリボンを結んだりして飾り付け工作も楽しみました。

講師の飯岡さんは「技術の進歩や輸入などで、食べ物や植物から季節を感じる機会が減っている。生け花を通して暮らしの中に季節の移ろいなどの気づきを持って、気持ちの豊かさを培ってほしい」などと話していました。

参加した村山たんごさん（附属小1年）は「楽しかった。ネコジャラシが細くてさすのが難しかった。ススキをまとめてガサッとさしたところがカッコよくてうまくできた」などと話していました。



村山さん（右）と大月さん（左）親子と自由な発想で生けられたハロウィンらしい作品



生け花教室は、地域づくりの一環として企画したもの。公民館活動を通して、小さいころからお互い顔が見える関係性を築いて行けるようにという狙いがあります。今回、第一地区からの参加者は、11人中2組4人でしたが、これからも門戸を開き、広く子ども同士が関わりあえ参加しやすいような工夫をして、地域活動を盛り上げていく考えだということです。

電車通り

京セラを創業し世界的な企業に育て、また経営破たんした日本航空を再建し、約2年で再上場を果たしました。

この人物は言うまでもなく稲盛和夫氏であります。

人の心を大切に、思いやることを念頭に置き、信頼関係を築いたと言えます。

一般家庭においても、親子では信頼関係が有ると思っておりますが、親又は子が一方的に言う、家庭内が上手くいかないような事が多いと思われま

この心に沿って家庭を作っていくには、きつと良い関係が築かれるのではないかと。

これは、言うは易し、行うは難しと思われま

稲盛和夫氏が設立した経営塾「盛和塾」では、世界で多くの経営者が学んでいました。「分りやすい言葉で表現された理念と、実践によって実感させる仕組みがあった」からといわれています。

やはりこの世界で成功した方の理念、考え方を参考として、自分の行いに取り入れていけば、良い方向が見出せるのでは、と考えます。